

## 令和6年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和7年2月6日（木）午後2時00分～午後3時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員（3名）

伊 藤 由美子（委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

事務局（7名）

畑 中 伸 也（総務部 部長）

近 藤 巖（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（9名）

高柳 貴久蔵（都市創造部 次長兼都市管理課長）

西 脇 聖 二（都市創造部 都市管理課 建築営繕係長）

伊 藤 康 洋（産業振興部 観光課 桑名市民会館 館長）

山 田 翔 太（産業振興部 観光課 桑名市民会館）

伊 藤 彰 浩（都市創造部 桑名駅周辺整備事務所 所長）

土 井 健 司（都市創造部 桑名駅周辺整備事務所 所長補佐兼駅周辺整備係長）

大 中 桂 介（都市創造部 桑名駅周辺整備事務所 駅周辺整備係）

小 林 信 幸（上下水道部 水道課 課長兼水道技術管理者）

加 藤 英 二（上下水道部 水道課 課長補佐兼施設係長）

## 事 項

### 1 開 会

#### 【事務局】

定刻になりましたので、令和6年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

本日、藤田副委員長、山下委員につきましては、所要のため欠席のご連絡をいただいております。

りますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

はじめに総務部長からご挨拶を申し上げます。

**【総務部長】**

総務部長の畑中でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中、入札監視委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

今週は、数年に一度の寒波と言われておりまして、非常に寒くなっておりますが、今週末、積雪等も心配されますけれども、交通渋滞等がないように願っているところでございます。

さて、本委員会も、今年度は本日が最後の委員会です。この会議も定期的開催させていただいておりまして、入札制度の公平性、透明性を担保するために、皆様からの貴重なご意見を伺っております。

そうした意見を踏まえながら、引き続き事務の見直しも含めて、適切な制度の維持に努めてまいりたいと考えております。

本日ご出席の皆様には、忌憚のないご意見を聞かせていただきまして、この委員会が有意義に進むよう、本日の議事もよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

皆様、ご多忙の中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

入札監視委員会の仕事というのは、どこまでの効果を発揮できているのかというのは、なかなか計り難いものではありますけれども、本日も傍聴の方がいらっしゃるということで、何がしか注目していただけるというのはありがたいことなのかなというふうに思っております。

実際に、工事関係に関してはですね、物価高があり、資材費、人件費等が上がってきている、しかも働き方改革の中で工期の設定等なかなか難しい問題を抱えている。その中で、適切な、必要な工事をちゃんとやっていただく必要がありますので、その中で、我々も何かの一助になればいいかなと思います。

委員の皆様には、ご協力をお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長

に議事進行をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開としております。

これ以降の審議につきまして、傍聴を希望される方がみえますので、許可したいと思いますがよろしいでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

ありがとうございます。それでは傍聴人入場のため、しばらくお待ちください。

《傍聴者入場》

【委員長】

傍聴の皆様、お待たせいたしました。

本委員会での写真、映像については、頭出し部分に限らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

## 2 議 事

### (1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは、早速審議に入りたいと思います。

「議事(1)入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、「(1)入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和6年9月から令和6年12月の4か月の間に指名停止を講じた件数は2件です。

このうち、本市が独自に指名停止を講じた左側の1件につきまして説明させていただきます。

桑名市公立保育所における給食調理等業務について、公募型プロポーザルを実施し、株式会社三重給食センターを委託候補事業者に決定しましたが、随意契約の落札決定後、同社から、公立各保育所において現在在籍中の従業員の慰留を望めないことなどから、十分な人数が確保できていない状況のため、辞退届が提出されました。

このことは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第5号の「不正又は不誠実な行為」に該当しますので、1ヶ月の指名停止措置を講じました。

残りの1件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じた

ところでございます。

次に、②の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。  
説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

では、ないようですので、次に移ります。

## （２）抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、抽出案件５件について説明を得るため、入札監視委員会  
条例第６条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

それでは関係者の出席を求めます。

《発注担当課入室》

【委員長】

審議にあたり、今回の５件の抽出理由について、赤木委員から説明をお願いします。

【赤木委員】

赤木です。

資料２ページの審議案件の抽出理由書に書いているとおり、１件目は応札業者が少ない  
こと、２件目は応札業者の中で失格業者が多いこと、３件目は応札業者が少ないこと、４件  
目は落札率が高いことと応札者が少ないこと、５件目は随意契約であるため抽出しました。

以上です。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

### 抽出事案 １ 六華苑滝用水中ポンプ取替工事

【委員長】

それでは、第１案件「六華苑滝用水中ポンプ取替工事」について、発注担当課から工事概  
要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお  
願いします。

【都市管理課】

都市管理課高柳でございます。よろしくお願いいたします。着座にてご説明をさせていた

できます。

お手元の資料 3 ページの概要書に沿ってご説明をさせていただきます。

件名は、六華苑滝用水中ポンプ取替工事。

履行場所につきましては、次の 4 ページの位置図に示してございます、六華苑、桑名市大字桑名663番地 5 地内でございます。

履行期間につきましては、令和 6 年 9 月 17 日から令和 7 年 3 月 17 日まで。

予算額は税込み 2,024,000 円に対しまして、設計金額は税込み 2,024,000 円でございます。

工事の概要といたしましては、六華苑の池の中に設置されております滝用の水中ポンプを取り替える工事です。

池の水抜き及び池の底の泥の撤去をする浚渫工事は、施設の所管課にて別途発注されており、浚渫工事が完了してから本工事において水中ポンプ 1 台を取り替えるものでございます。

工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の 7 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、機械器具設置工事業の特定又は一般の許可業者であること。

所在地は県内までとし、発注業種の完成工事高は予定価格の 2 分の 1 以上であること。

同種業務施工実績として、完成工事高要件を満たさない場合、平成 21 年度以降、官公庁が発注した案件で、水処理設備工事又は揚排水機器設置工事の施工実績を有することとしております。

技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、8 ページをご覧ください。

令和 6 年 9 月 4 日に開札を行いましたところ、東邦地水株式会社 1 者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため落札候補者となりました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 168 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は、必ずマイクを使用していただきますようお願いします。

【赤木委員】

抽出理由そのものですが、資料を見ると、新設ということで仕様が謳われています。

応札業者が1者ということなんですけど、よくこの委員会が出るあるあるですが、特別な設備の更新等の場合は、その同じ会社でないと何ともならないという理由があるんですけど、仕様だけで、新設ということになれば、そうなる必要もないと思いますが、1者しかなかった理由が何かわかるのかわからないのかというのを教えていただければと思います。

以上です。

【委員長】

では、よろしくお願いいたします。

【都市管理課】

都市管理課の西脇です。お答えさせていただきます。

応札業者が少なかった理由ですが、今回、水中ポンプの機器製作期間が必要なことと、池の浚渫工事との日程調整が必要なことから、工期を6か月としております。

また、技術者が不足している状況があったため、1者の応札であったと考えております。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【委員長】

他にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

特にないようであれば、この案件につきましては、問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、問題なしとします。

## 抽出事案 2 東新町市営住宅112号他2室退去修繕

【委員長】

それでは、次に第2案件「東新町市営住宅112号他2室退去修繕」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

引き続き都市管理課の高柳からご説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

9ページの概要書をご覧ください。

件名につきましては、東新町市営住宅112号他2室退去修繕でございます。

履行場所につきましては、桑名市大字江場8番地他地内でございます。位置図は10ページに示しておりますが、それぞれ、東新町市営住宅、元赤須賀市営住宅、日物谷市営住宅の3市営住宅です。

履行期間につきましては、令和6年12月24日から令和7年3月24日まで。

予算額は税込み69,740,000円に對しまして、設計金額は税込み8,800,000円です。なお、予算額が比較的大きな金額になっておりますのは、その他退去修繕以外の普段の小破修繕等を含んでいるため、設計額と予算額に差異が出ているものでございます。

工事の概要は、市営住宅の入居者募集のための室内をリフォームする工事でございます。

本工事では、先ほどもご説明しましたとおり、東新町市営住宅112号室、元赤須賀市営住宅112号室、日物谷市営住宅215号室の3室の退去に伴う修繕工事一式でございます。

工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の14ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の特定及び一般の許可業者であること。

所在地は市内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

同種工事施工実績として、平成21年度以降に、官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること、技術者要件としては、現場代理人と、主任技術者の配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、15ページをご覧ください。

令和6年12月11日に開札を行いましたところ、5者から応札がありましたが、3者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札した三重同愛建設協同組合が落札候補者となりました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き736万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

#### 【赤木委員】

赤木です。

2点ございまして、1点目はまさに抽出理由そのもので、失格者が微妙な数字で、5者中3者が失格になっているのは、何か理由があるのかということ。

もうひとつは、不勉強で申し訳ないですけど、他の案件の発注公告にも書いてある「月2回土日完全週休2日制工事」というのは、この意味はどのような意味なのかなと。推測するには、月に2回は土日を休みにする。働き方改革を考えてそういうかたちの業者が入札してきてくださいという意味なのかなと思いますけど。

この2点について、お願いします。

【委員長】

はい。回答をお願いします。

【都市管理課】

都市管理課の西脇です。回答させていただきます。

1点目の質問ですが、今回、退去修繕としては、3室をまとめて出したことから高額な設計額となっており、どの業者さんも積極的に落札を狙った結果、金額のばらつきが出たと考えております。

2点目の質問の月2回土日完全週休2日制工事については、働き方改革の一環として、建設業で最近始まった取り組みでして、4週8休以上の現場閉所日を設けるという前提で、業者さんにも日数を設けてもらうような制度です。

以上です。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【委員長】

よろしいでしょうか。

【赤木委員】

はい。

【委員長】

他に、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

私の方からよろしいでしょうか。

先ほどの説明で、積極的な受注意欲があったからというような、狙ってきたという話なんですけれど、これまでの話でいくと、最低制限価格というのは、ほぼ計算できるという状態になっているというこれまでの現実があったと思いますが、それをあえて下回ってくるというのは、何かあるんでしょうか。

【都市管理課】

はい。お答えさせていただきます。

予定価格は事前に公表されていますが、共通費を算出する際に必要な費用について事前に公表していない費用があり、そちらについてそれぞれ応札業者さんで想定されて応札され、その辺りで金額にばらつきが出てきたと考えております。

【委員長】

はい。わかりました。



他にはよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、この案件につきまして、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、これに関しては終わります。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。ありがとうございました。

### 抽出事案 3 柿安シティホール舞台設備改修工事

【委員長】

それでは、次に第3案件「柿安シティホール舞台設備改修工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【観光課】

観光課の市民会館の伊藤でございます。座って説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の概要書16ページをご覧ください。

件名は、柿安シティホール舞台設備改修工事。

履行場所は、桑名市中央町三丁目20番地地内、市民会館柿安シティホールでございます。

履行期間につきましては、令和6年12月17日から令和7年3月14日まで。

予算額は税込み28,410,000円、設計金額は税込み26,070,000円でございます。

工事の概要は、大ホール吊り物機構改修として、マニラロープ、開閉綿ロープ、開閉ランナー、リミットスイッチ取替、昇降マシン機能増設。小ホール吊り物機構改修として、ワイヤーロープ、リミットスイッチ取替、昇降マシン機能増設です。

工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の23ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、機械器具設置工事業の特定及び一般の許可業者であること。

所在地は県外までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

同種工事施工実績として、平成21年度以降、官公庁が発注した案件で、舞台装置設置工事

の施工実績を有すること、技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、兼務は可とします。

以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、24ページをご覧ください。

令和6年12月4日に開札を行いましたところ、三精テクノロジーズ株式会社名古屋営業所1者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため落札候補者となりました。

事後審査を行った結果、適格であったため当該業者を落札者と決定し、税抜き2,207万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今の案件につきまして、ご質問、ご意見をお願いします。

【赤木委員】

はい。赤木です。

これを見させていただくと、市民会館の色々な設備の改修で、入札参加資格要件としては、県外業者までという一番大きく広げている状態だとお見受けします。ただ、応札者が1者しかなかったというのは何か事情があるかと思い、お聞きしたいです。

以上です。

【委員長】

はい。お願いします。

【観光課】

伊藤でございます。委員のご質問にお答えさせていただきます。

可能性としては、舞台の設備というものは特殊なものであり、その中で、かなり特殊な舞台の上の吊り物を改修することが今回の目的でした。

施工できる業者も限りなく少ない中で、この部品というものが、企業が汎用品の部品を組み合わせて独自性の高い製品を作って、それを用いるというところがございます。

全体的なところでも、部分的な交換の改修になっておりますので、全ての部品、製品の互換性や安全性の確保の観点から、業者の方々がそのようなことも悩まれた中で、限られた業者になったのではないかと考えているところでございます。

【委員長】

はい。いかがでしょうか。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【委員長】

他に、ご意見、ご質問等ございませんか。

すみません、私の方から。

県外業者まで広げて入札をされたと思いますけれども、実際、県外業者まで広げると何者くらい、本来、応札できるような業者があるとお考えだったのでしょうか。

【観光課】

伊藤でございます。

私どもでお調べさせていただいている中では、登録というかたちで見れば、10者ほどであったかと思っております。

民間のシステム等、いろいろなものでお調べさせていただいた中でも、数十者、これが全てではないかとは思いますが、それぐらいの数であったかなというふうには認識しております。

【委員長】

それくらいありそうな中で、この入札に参加してきたのは1者ですか。

非常に少ないということなんですけれども、その辺りについては、何か考えられることはありますでしょうか。

【観光課】

市民会館ができてから時間が経っており、19年に一度改修をしております。製品としては、今回応札されて契約をさせていただいた業者様が施工業者でしたので、色々なことを知っているため、この業者は参加されて、結果的には1者での応札になったと考えております。

【委員長】

わかりました。

特殊性があると、なかなか応札もしにくいのかどうかと思わないでもないですけれども、入札ということからすれば、できるだけ多くの業者さんに参加していただくことが望ましいかなと思いますので、今後とも、その方向性だけは持っていただければと思います。

他に、ご意見、ご質問等よろしいですか。

《意見等無し》

【委員長】

他にないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、問題なしとします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。ありがとうございました。

#### 抽出事案 4 桑名駅前ペDESTロリアンデッキ撤去工事

【委員長】

それでは、次に、第4案件「桑名駅前ペDESTロリアンデッキ撤去工事」について、発注担

当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【桑名駅周辺整備事務所】

都市創造部桑名駅周辺整備事務所の伊藤と申します。よろしくお願いします。

工事概要を説明申し上げます。

お手元の資料25ページをご覧ください。

件名につきましては、桑名駅前ペDESTリアンデッキ撤去工事。

履行場所は、桑名市桑栄町4-1他でございます。詳細な場所は26ページの位置図で、桑名駅の東口の駅前広場の北側にありますペDESTリアンデッキの撤去です。

設計金額は税込み86,770,200円に對しまして、契約金額は86,680,000円です。

履行期間につきましては、令和6年10月1日から令和7年3月15日までです。

本工事は、桑名駅の周辺の複合施設整備事業の進捗を見据えまして、旧JR桑名駅舎へ接続してありましたペDESTリアンデッキ、一般的には上空通路と呼ばれておりますが、を撤去するものでございます。

工事の概要といたしましては、ペDESTリアンデッキの撤去工事一式、駅前広場撤去・復旧工、仮設工、また、JRの用地内で撤去・復旧工、車道舗装、歩道舗装、排水構造物工、道路附属物工です。

事後審査型条件付き一般競争入札を実施いたしまして、シーエヌ建設株式会社様と契約を締結したものであります。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の28ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付き一般競争入札です。

資料の中ほどをご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の特定の許可業者であること。

所在地は県外までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績として、平成21年度以降、官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有することとしております。

技術者要件としては、現場代理人、監理技術者、その他の技術者の配置を求め、現場代理人、監理技術者及びその他技術者の兼務は可であること、その他技術者にはJR用地撤去・復旧工においては、JR近接工事における工事管理者を配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、29ページをご覧ください。

令和6年9月18日に開札を行いましたところ2者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札したシーエヌ建設株式会社が落札候補者となり

ました。

事後審査を行った結果、適格であったため当該業者を落札者と決定し、税抜き7,880万円  
で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

【赤木委員】

赤木です。

見る限り、素人の考えですけど、撤去工事なので、失礼ながら、そこまで高度で専門的、  
専門は専門なんだろうけど、難しい工事ではないようにも見えるし、J Rとか鉄道絡みな  
ので、何か特別なものがあるのかなとも思うし、そこが素人なのでわからないところすけ  
ど、金額が割かし高いということで、要件を県外まで広げているということですけど、これ  
で2者しかこなかった何か事情がわかればというのがひとつ。

2つ目は、ほぼ100%の落札率になった事情がわかれば。

この2点について教えていただければと思います。

【委員長】

はい。お願いいたします。

【桑名駅周辺整備事務所】

1点目の、2者入札があったということですが、今回のペDESTリアンデッキの撤去につ  
きましては、撤去以外に線路に近い敷地内に仮設通路を作っております。その通路の際に  
は、鉄道の管理車両等が出入りしたり、鉄道の施設も一部、加工したり触ったりするとい  
うことで、J Rとの協議の中では、資格要件で、工事従事資格認定証、いわゆる、会社自体に  
認定証を出しているところと、近接工事ということで資格を持っている人、人自体もある程  
度専門の、鉄道に専門的な知識がある人を条件にという協議の中での条件を付けさせてい  
ただいたところでございます。

所在地要件が県外までということで、その資格要件があれば、誰でも手が挙げられる状況  
の発注ではありましたが、理由になるかわかりませんが、結果として2者しか手が挙がらな  
かったということでございます。

2点目の落札率につきましても、業者さんが札を入れた状況ですので、その辺が高かった  
理由というのは、発注担当課では把握しておりません。申し訳ございません。

【委員長】

ありがとうございます。赤木委員いかがでしょうか。

【赤木委員】

はい。ありがとうございます。

【委員長】

よろしいでしょうか、他にご意見等。

すみません。私の方から。

鉄道絡みになると、いつもこの指定業者でないといけないとか、あるいは、そういった特別な配慮がいるからということで、工事費が高くなるのかという気がしておるんですけれども、この度は、ここに書いてあるようなその他技術者の配置ということが主な鉄道側からの条件だったのでしょうか。

【桑名駅周辺整備事務所】

そうですね。

2つ条件がございまして、入札参加資格要件のその他要件に記載しております、在来線作業従事員証という条件を付することと、2つ目に技術者要件のその他技術者というところで、J R用地撤去・復旧工においては、J R近接工事における工事管理者を配置することという条件が、J Rとの協議の中で、そのような資格がないと、J R敷地内は触らせないよということでした。

市民の方々に敷地内の仮設通路をどうしてもすぐ使ってもらうため、また、大まわりをするのはやはり市民の方々に不便ということで、最短距離の敷地内という。ペDESTリアンデッキ自体が、J R敷地内に跨ぐ部分もあったため、どうしても、J Rさんの条件をのまないと作業ができないことから、このような条件を付けさせていただきました。

【委員長】

はい。ありがとうございます。

それでは、他にご意見、ご質問等はいかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

なければ、これに関しては、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、終わります。

担当課が入れ替わりますので、しばらくお待ちください。ありがとうございました。

## 抽出事案 5 額田水源地1・2号井取水ポンプ盤等機能増設工事

【委員長】

それでは、次に第5案件「額田水源地1・2号井取水ポンプ盤等機能増設工事」について、発注担当課から工事概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後、事務局から見積経過について説明をお願いします。

【水道課】

上下水道部水道課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にてご説明

させていただきます。

それでは、まず概要書の方からご説明させていただきます。

件名は、額田水源地1・2号井取水ポンプ盤等機能増設工事でございます。

履行場所は、桑名市大字額田地内でございます。

履行期間は、令和6年9月17日から令和7年2月28日までとしております。

予算額は税込みで6,171,000円に対しまして、設計額は4,995,100円でございます。

工事の概要につきましては、額田水源地施設内の機器の更新、機能増設工事でございます。

工事の内容といたしましては、設置してから20年を経過した取水ポンプの回転制御装置が製造中止となっており、機器の購入費用や運転方法の変更を検討した中で、取水制御は管路に設置してある開閉バルブで制御可能でありますことから、運転方法を変更し、回転制御装置を取り外す工事、それと、ポンプ運転時の電力を抑える低電圧の始動方式に変更するため、既存の運転を制御するポンプ盤を改造して機能を増設するという工事を行っております。

次に、随意契約理由についてご説明させていただきます。

随意契約理由書をご覧ください。

契約の相手方は、株式会社三重日立でございます。

随意契約の理由につきましては、現在、取水ポンプの取水量制限に伴う回転制御装置を取り付けてありますが、該当装置は既に製造中止であるため、故障時の取替ができないこと、また、当該装置が故障した場合、取水ポンプが作動しないため、額田1・2号井から取水できなくなることです。

現況といたしましては、認可水量まで取水可能でありますことから、取水量制限に伴う回転制御装置は必ずしも設置する必要がないため、ポンプ盤の改造を行い、安定的な取水を確保する必要がございます。

このため、当該業者は既設設備の施工者であり、既設の設備と密接不可分の関係にあつて、施工者及び製造者が指定した以外の者に施工させた場合、既設設備等の使用に著しい支障が生ずるおそれがあります。よって、株式会社三重日立と随意契約を締結いたしました。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続いて、見積経過についてご説明いたします。

35ページの見積経過表をご覧ください。

令和6年9月10日に見積り合わせを実施し、株式会社三重日立から見積書を徴しましたところ、予定価格の範囲内でありましたので、当該事業者と税抜き428万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

はい。ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見をお願いします。

【赤木委員】

赤木です。

随意契約理由は、読ませていただいたら、いつもの既存の装置関係の業者なので代えがきかないということなんでしょうということで特に質問はないですけど、今更ながらの質問で、今更聞くなよというレベルの話かもしれませんが、一般論で、まさにこの随意契約の一般的なことで、ごめんなさい、素人なんで聞くんですけども、見積り合わせをした結果、超えている場合はどうされるのかなということを、以前聞いたかもしれませんが、改めて教えていただければと思います。

【委員長】

お願いします。

【事務局】

企画総務課満仲でございます。

見積額が予定価格よりも高かった場合は、2回目の見積り合わせをその場で行わせていただいて、それが予定価格の範囲内であれば、契約を進めていく。

2回目でも予定価格を超えた場合は、その差が少なければ、協議によって予定価格の範囲内に収められるかどうか話し合いをさせていただきます。そこで落ちない場合は不調ということで処理をいたします。

【赤木委員】

勝手なイメージですけど、カードを見せ合うみたいなイメージで捉えていいのでしょうか。

【事務局】

カードというよりは、封書に封入して1回目は先に用意されているんですが、ほとんどの業者さんは1回目だけではなく、2回目も応札できるように書式を整えた書類をお持ちになって臨まれることが多いですが、そこについては、こちらは予定価格が決まっておりますので、それ以下でないと契約できないということになります。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【委員長】

他に、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

特になければ、この案件に関しても、問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、問題なしとします。



そうしましたら、以上をもちまして、抽出案件5件の審議を終了いたします。

発注担当課はここで退席してください。ありがとうございました。

《担当課退席》

### (3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

#### 【委員長】

続きまして、「議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて」事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

では、議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて、今回は「入札不調・不落対策について」、「不正のない入札及び契約事務の実施について」を、お手元の資料によりご説明申し上げます。

資料の1ページをご覧ください。

入札の不調・不落は、入札手続きを再び繰り返すこととなりますので、予定通りに事業や工事が進められず、その結果、市民サービスに影響を及ぼす恐れが生じるため、不調・不落への対応や対策への取組みが必要となります。

本市における入札の不調・不落の状況ですが、お手元の資料では、工事の発注に限定した数値で説明させていただきます。

令和3年度では79件の発注のうち不調が3件、不落が1件、令和4年度では99件の発注のうち不調が11件、不落が4件、令和5年度では90件中不調が3件、不落が2件といった状況です。

本市の対策といたしましては、ホームページを活用し、公表時期を明確にした発注見通しや、入札公告等の情報を公表するなど、競争参加資格を有する者が公共工事の入札に参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。

工事の発注においては、必要な情報等を適切に把握し、地域の実情等を踏まえた適切な競争参加資格の設定を行うほか、適正な利潤が確保される予定価格の設定や、工期設定の適正化を図るなど、入札不調・不落の発生を極力回避することに努めることが必要と考えます。

この取組みは、前回11月の監視委員会でご説明いたしました、「工事発注の平準化」に関連するものであり、発注者側においては、安定的な施工の確保や担当職員の事務負担の軽減、受注者側においては人材や資機材の実働日数の安定的向上が見込まれ、公共工事に従事する者の安定的な雇用や休日の確保など、経営の安定化に寄与するものと考えております。

続いて、不正のない入札及び契約事務の実施についてです。

不正入札と言われる、入札談合等関与行為には、受注者の選定や受注金額等を入札参加者同士で決めてしまうなどの入札談合のほか、発注担当職員による秘密情報の漏洩、落札予定者を明示するなどの、職員が入札談合に加わる官製談合があります。

入札により発注される役務の取引に係る競争を制限する入札談合は、公共の利益を損なうばかりか、非効率な事業者を温存させ、事業活動を停滞させる等の弊害をもたらすことから、独占禁止法で禁止されております。

本市の談合防止の対策といたしましては、予定価格の事前公表や変動型の最低制限価格制度の実施、また、電子入札システムの導入は、入札参加者が一堂に会する機会を減少させることから、談合等の不正行為の防止にも一定の効果が期待されると考えております。

我々担当課職員は、このような入札談合と常に隣り合わせにしていることから、法令の遵守や守秘義務を徹底し、一人に仕事を任せないなど、風通しの良い職場環境を維持していくことが大切です。

また、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律、いわゆる「独占禁止法」の第3条及び第8条第1号の規定に違反する行為があると疑うに足る事実がある場合は、公正取引委員会に通知しなければならないと入契法第10条に規定されています。入札参加者の不正行為の疑いがある場合には、我々発注者がこれを見過ごすことなく毅然とした対応を行い、発生した不正行為に対する処分の実施を促すとともに、再発の防止を図る取組みが重要であると考えます。

我々契約担当課職員の事務の執行が、法や例規に基づいたものなのか、マニュアルに沿って行われているかを意識しながら、職務を遂行したいと思います。

説明は以上でございます。

#### 【委員長】

はい。ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問、ご意見等伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

では、私の方から。

特に、入札の不調とか不落とかがあると、予定する工事が予定通りに行われなくなってしまふという問題も出てくるとは思います。その中で、今、環境の変化ですね、冒頭でもありましたが、働き方改革であるとか、あるいは、いわゆる経済環境の問題とか、色々な物事が、何と云うか、こういう表現をするとまずいかもしれませんが、驚くようなスピードで変化している。その変化に、やはり、できるだけ適切に対応していくということが、ひとつは必要なのかなというふうに考えております。

それが一言で済む、何かがすぐできるわけではないとは思いますが、常日頃からそういう早め早めの予兆を見て対応をしていくというようなことを、それを心掛けていただくというのは、大事なことかなというふうに思っておりますので。感想みたいな話ですけど、お願いします。

他には、ご質問、ご意見等よろしいでしょうか。

それでは、この件については以上とします。

#### (4) その他

【委員長】

次に、その他ですが、委員の皆様から何かございますか。

《意見等無し》

【委員長】

特にございませんかね。

それでは、事務局の方から何かございますか。

【事務局】

特にございません。

### 3 閉 会

【委員長】

それでは、これにて令和6年度第3回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。

なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。傍聴の方、ありがとうございました。退席をお願いします。